

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度	令和5年度		
事業番号	78	事業名	高齢者配食サービス事業		担当課	長寿課	
			(大事業名) 任意事業		予算区分(款-項-目-中事業)	3-2-2-2 高齢者配食サービス事業	
					決算書ページ	27 ~ 介護	
総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	事業開始の背景	地域の実情に応じて、市町村の任意事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。		
	政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進				
	施策	(2)	介護予防の推進				市民・民間事業者との連携協働の可能性
	開始年度		平成16年度				
その他	終了予定年度		<input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 未定				
	根拠法令等		長久手市高齢者配食サービス事業実施要綱				
	関連計画		第9期高齢者福祉・介護保険事業計画				
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）			アウトカム（詳細はⅢへ）			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)
	<b>【対象】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数：      約850人  <b>【事業内容】</b> 身体が虚弱で調理等日常生活を営むのに支障がある65歳以上独居高齢者又は75歳以上のみの世帯を対象に、配食サービスにかかる費用の一部を負担する。		<b>【アクションプラン指標】</b> 配食サービス利用者数【単年】  ...▶ <b>【その他の指標】</b>		高齢者への配食サービスの提供により見守りで孤独死を減少させ、栄養状態の維持・改善を図ります。  (成果指標名)  配食サービス利用者数【単年】		▶ 大 事 業 共 通  65歳以上の独居高齢者又は75歳以上のみの世帯に対し（家族の見守りが無い）、業者の見守り及び栄養状況の管理を市、住み慣れた地域で長く暮らしていけるよう働きかける。

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 配食サービス利用者数【単年】	人	基準値	194	見込	265	—	—	—	—
			目標値	265	実績	151	—	—	—	—	—	—
2	【その他指標】 配食サービス利用者数【人】	人	基準値		見込		73	75	77	79		
			目標値		実績							
3			基準値		見込							
			目標値		実績							
4			基準値		見込							
			目標値		実績							
エピソード	事業開始からの経緯											
	高齢者数の増加とともに配食数は概ね増加傾向にあり、独居高齢者等の安否確認及び栄養管理のニーズに対応している。令和4年度に事業見直しをし、対象者を精査した。											
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
令和5年度は、業者の安否確認により、室内で倒れていた利用者に対して迅速な対応が出来た。（3件） 令和4年度に実施した事業見直しを行い、令和5年度は移行期間とし既存利用者に変更内容の周知を図り理解を得るよう努めた。												

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名 (中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標								
		配食サービス利用者数【単年】		人	H30 年度	▶	R4 年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R6 年度	▶	R10 年度
					194	190	154	71	81				
		成果達成状況						指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						令和4年度に対象要件を見直したため、利用者数は減少したが、その後は、高齢者人口の推計を参考に資、伸び率1.02を見込んだ。				
	評価の理由、分析												
	お弁当を渡すことができなかった場合で本人または緊急連絡先に連絡が取れない場合は市に通報してもらおうシステムになっており、実際に自宅内で倒れている高齢者を発見し、救出することができているため。												
	今後の方向性 (3年~5年先)		今後の方向性の理由										
	A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和4年度に制度を見直し、現在の条件で運用をしていく。また、今後高齢者が増加していくことから、定期的に制度を見直していく。									
	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
加える変化 (ACTION)													

IV 費用	R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
	A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
		C. 縮小 D. 廃止			9,240	14,190	11,104	14,640	12,487		
	理由			特定財源	合計額	6,598	7,588	8,449	7,421	9,439	
	高齢者への配食サービスの提供により見守りで孤独死を減少させ、栄養状態の維持・改善をしていく必要があるため。				(内 国費)	1,425	1,518	3,903	1,485	4,155	
					(内 県費)	890	949	2,002	928	2,166	
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
					(内 その他)	4,283	5,121	2,544	5,008	3,118	
	積算額			一般財源	2,642	6,602	2,655	7,219	3,048		
	未定			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >							
			高齢者配食サービス事業委託 9,240千円								